

学修目標

「モデルカリキュラム」(数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)の「社会におけるデータ・AI活用」、「データリテラシー」、「データ・AI活用における留意事項」に関する内容を学ぶことにより、今後のデジタル社会において数理・データサイエンス・AIを人間中心の適切な判断により、日常生活や仕事の場で使いこなすことが出来る基礎的素養を身に付ける。

プログラムの修了要件

基盤教育科目として全学に開講している①「情報処理入門」(2単位)、②「統計学」(2単位)の2科目(計4単位)について単位修得すること。

対象学生

全学部学科の学生

プログラムの改善や自己点検・評価を行う組織

数理・データサイエンス・AI教育委員会

数理・データサイエンス・AI教育プログラムとモデルカリキュラム※対応表

対象科目	単位数	導入 社会におけるデータ・AI活用						基礎 データリテラシー			心得 データ・AI活用における留意事項		選択 オプション	
		1-1 社会で起きている変化	1-2 社会で活用されているデータ	1-3 データ・AIの活用領域	1-4 データ・AI活用のための技術	1-5 データ・AI活用の現場	1-6 データ・AI活用の最新動向	2-1 データを読む	2-2 データを説明する	2-3 データを扱う	3-1 データ・AIを扱う上で留意事項	3-2 データを守る上で留意事項	4-2 アルゴリズム基礎	4-3 データ構造とプログラミング基礎
情報処理入門	2	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●
統計学	2							●	●	●				

※モデルカリキュラムとは、2020年4月に数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムが策定した「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム～データ思考の涵養～」のことを指します。 http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/pdf/model_literacy.pdf